

## 平成 28 年度共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名	和文：神岡鉦山における歪・傾斜・地震観測 英文：Strain, tilt, seismic measurement in Kamioka-mine
研究代表者	荒木英一郎
参加研究者	木村俊則、町田祐弥
研究成果概要	<p>海洋研究開発機構では、南海トラフに設置するための「長期孔内観測システム」の開発・設置を目的として、神岡鉦山坑内に深さ約 21m の陸上試験孔を掘削し、2010 年に南海トラフに設置した観測システムと同様のシステムを試験孔に設置し、注水実験や長期評価試験を行っている。平成 28 年度には、前年度に引き続いて神岡鉦山坑内の陸上試験孔にて歪・傾斜・温度計測を行い、測器の長期安定性等の評価を実施した。また、平成 28 年度には地球深部探査船「ちきゅう」による IODP Exp.380 航海において、神岡鉦山で評価を行った地震計等の孔内センサーの南海トラフ C0010 掘削孔への設置を行った。平成 29 年度には南海トラフ C0006 掘削孔への孔内センサーの設置を予定しており、引き続き孔内センサーの評価試験を実施した。</p>
整理番号	B17